



《東京都中学校長会》 平成29年 7月 13日 (木)

7月 会長だより (地区代表者連絡会)

会長 岩 永 章

1 挨拶

九州北部を襲った記録的な集中豪雨により、大きな被害が発生しました。尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願っております。

学校の教育活動では、夏季休業まで1週間となりました。各校では1学期の大きな行事である修学旅行・移動教室・運動会などを終え、成績処理や通知表作成などの事務処理や夏季休業に向けた準備に追われている時期と思います。このような多忙な中でも、一人一人の生徒の状況に目を向け、教職員が情報を共有し、学校が組織として生徒の健全な成長に向けた指導を丁寧に進めていく必要があります。夏季休業前の面談などを有効に活用するとともに、養護教諭やスクールカウンセラー、関係諸機関と連携を密にして多面的な生徒理解を深め、必要に応じて個別指導を進めていきたいと思っております。

さて、今年度の東京都中学校長会の活動ですが、4月の総会以降新しいスタッフに引き継がれ、現在まで、粛々と活動を進めてきました。新しい組織になってからの主な活動を上げると、地区代表者連絡会・区市等校長会連絡会に加え、以下のような活動を行ってきました。一つは東京都中学校女性校長会・東京都公立中学校副校長会・東京都教育管理職員協議会・東京都公立小学校長会・東京都中学校体育連盟・東京都中学校教育研究会・日本教育会・退職公務員連盟等の関連団体の総会・式典・会議への出席。また、東京都租税教育推進協議会・社会を明るくする運動東京都推進委員会・心の東京革命協議会・東京子ども応援協議会・東京都産業教育振興会等の支援団体の総会・会議への出席。その他に、東京都教育委員会からの協力要請による東京都立高等学校入学者選抜検討委員会、七都県高校進学問題協議会、全国育樹祭東京都実行員会等への参加などを会長・副会長を中心に分担してまいりました。さらに、東京都中学校長会として、全日本中学校長会理事会並びに総会・関東甲信越地区中学校長会理事会並びに研究協議会への参加、新任校長連絡会の開催、教育庁人事部との情報交換会、指導部との教育連絡会、都内3地区の教育長会長訪問、東京大会記念講演講師・伝統芸能出演者との打合せなども行ってきました。

中学校長会「会報389号」でもお示しさせていただいた通り、これらの活動に加え今年度は、「中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会」開催に向けた準備、教育管理職候補者不足への対応、中学校教員の働き方改革の3点に重点を置いた活動も展開してまいります。今年度になって新たに生じた課題もあり、対応すべき課題が発生した時には柔軟な姿勢で速やかに対応していく所存です。今後とも、会長・副会長・部長・副部長・委員長・副委員長長の結束を固めていきますので、各部員・委員・会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2 当面の課題

(1) 平成30年度東京都立高等学校入学者選抜について

前年度に実施された東京都立高等学校入学者選抜における問題点を明らかにし、次年度の入学者選抜に対する改善策を検討することを目的に、毎年、東京都立高等学校入学者選抜検討委員会が開催されています。

今年度は、既に4回の検討委員会を重ね、平成30年度に向けた都立高等学校入学者選抜の改善を進めています。その検討内容の関係で、例年ならすでに各中学校に配布される生徒向けリーフレット「都立高校を受験される皆さんへ」の配布が、他の道府県からの受験資格の緩和に関する協議のため遅くなっています。各校では、進路説明会の資料に使われる学校も多くあると思っておりますが、改善内容が重要な内容であり、その分慎重な協議を進めたため、

各校への配布が遅くなりました。ご理解くださるようお願いいたします。

(2) 人事部との情報交換会について

6月20日14時から、今年度第1回目の都教育庁人事部との情報交換会を行いました。大変お忙しい中、人事部長 江藤 巧 様をはじめ担当の方々にご出席いただき、①教育管理職選考における受験資格拡大の効果と今後の見通し、②学校現場における業務改善をはじめとする長時間労働の解消、③副校長の業務及び処遇改善、④再任用教員増加への対応について、担当者からご説明があり、その後、率直な意見交換を行いました。

人事部からは「働き方改革推進プラン」の策定、「学校マネジメント強化モデル事業」の拡大など人事部が今後進めようとする事業に関して具体的なご説明がありました。最後に、人事部から服務事故防止に対する再度の要請があり、「教職員の服務に関するガイドライン」を配布するので活用してほしいとのことでした。これらの課題は、教育庁人事部と本会との共通の課題と認識し、各校においても校長として教職員に再度はたらきかけることの必要性を痛感しました。

(3) 指導部との教育連絡会について

7月3日16時から、今年度第1回目の都教育庁指導部との教育連絡会を行いました。大変お忙しい中、指導部長 増渕 達夫 様をはじめ担当の方々にご出席いただき、①都立小中高一貫教育校、②オリンピック・パラリンピック教育（環境）の推進、③TOKYO GLOBAL GATEWAY、④新学習指導要領の周知・徹底のスケジュールなどについて情報交換を行いました。また、指導部から①特別の教科道徳の評価について、②いじめ防止教育のための研修プログラムの活用についての情報提供があり、全中学校での活用について協力要請がありました。連絡会の最後には、意見交換の時間を設け、働き方改革に関して忌憚のない意見交換を行うことができました。東京都教育委員会でも、部門別に検討委員会を設け、それぞれの委員会で働き方に関する検討を進めているとのことでした。各中学校における勤務実態と様々な工夫に関する情報も検討材料に加えていきたいとのことでした。この他に、数年後を目途として、都立高等学校の入試に英語のスピーキングの導入を検討する委員会を今年度立ち上げるとの情報提供もいただきました。限られた時間でしたが、本会と東京都教育庁指導部との意思疎通を深めることでできた機長の競技となりました。今年度はこの連絡会の運営方法に工夫を加え、年3回行われる連絡会のうち1回は、小・中合同連絡会とし、小・中共通の課題について取り上げる予定で準備を進めているところです。

3 連絡・報告事項

(1) 70年記念大会全日中東京大会 記念講演講師との打ち合わせについて

6月26日に記念講演の講師をお願いしている 大村 智 北里大学名誉教授のところに、記念講演の打ち合わせに行って来ました。大変お忙しい中、お時間を割いていただき、当日の講演などについて打ち合わせを行いました。ノーベル賞受賞以来、講演依頼が絶えることなく、今年度もほとんど講演の日程が埋まっているとのことでした。そうした中でも、私どもの研究発表会でご講演いただけることは大変嬉しいことであり、衷心よりお礼を申し上げます。打ち合わせの中で、大村先生の学生時代の話になり、葺崎高校時代にはスキー大会で優勝した話など、飾らないお人柄がそのまま感じられるエピソードもご紹介いただきました。当日は、「私の半生を振り返って」というテーマでご講演いただきます。

(2) 70年記念大会全日中東京大会 伝統芸能出演者との打ち合わせについて

7月7日に東京大会の折に伝統芸能をご披露いただき、新内節人間国宝 鶴賀若狭掾先生と打ち合わせを行いました。鶴賀先生は伝統文化の普及・発展に関心が高く、今回の出演の依頼を快くお引き受けくださいました。八王子車人形の方々と演ずる「子宝三番叟」が日本文化の継承のきっかけとなることを願っています。

(3) 東京国際フォーラムの下見の実施

7月3日13時より東京国際フォーラムの下見・打ち合わせを行いました。全日中・東京中学校長会合わせて約50名が参加し、視察・担当者との打合せを真剣に行いました。